

給食施設における ATP ふき取り検査を用いた衛生管理の「見える化」 ～複数施設の横断的衛生管理水準の底上げと、衛生管理意識の向上～



給食編

社会福祉法人聖隷福祉事業団
浜名湖エデンの園

山瀬 寿子 氏

聖隷福祉事業団は聖隷三方原病院や聖隷予防検診センター、浜名湖エデンの園などの医療・福祉関連施設をはじめ、全国1都7県で介護保険対応の入所施設、在宅サービス事業、有料老人ホーム事業などを展開している。同事業団は、「美味しさ、栄養管理、衛生管理はいずれも極めて重要」という認識の下、「衛生アドバイザー」という独自の仕組みを構築。現場の自主衛生管理の徹底に努めており、ATP 検査も効果的に活用している。主な ATP 検査の対象として、手指、まな板、包丁の柄、冷蔵庫の取っ手（裏側）、ミキサーの刃などを選定し、衛生管理状態を「数値化」「見える化」することで、複数施設にわたる衛生管理水準の向上、スタッフの衛生意識の高揚などにつなげている。

本講演録では、有料老人ホーム・浜名湖エデンの園の取り組みを中心に聖隷福祉事業団の食品衛生管理の活動を紹介している。ちなみに、同園では感染管理のツールとしても ATP 検査を活用している。